

第6回東通村総合教育会議議事録

1. 日 時 平成31年2月6日(水) 15:00~16:00

2. 会 場 東通村交流センター3階「委員会室」

3. 出席者 東通村総合教育会議構成員
東通村長 越 善 靖 夫

東通村教育委員会 教育長	奥 島 涼 子
東通村教育委員会 教育長職務代理者	鈴 木 眞 治
東通村教育委員会 教育委員	橋 本 健 一
東通村教育委員会 教育委員	北 川 幹 雄
東通村教育委員会 教育委員	大 槻 淳
東通村総合教育会議オブザーバー	
東通村副村長	林 春 美 (欠席)
東通村総務課 課長	
東通村いきいき健康推進課 課長	小笠原 伸 一
	三 國 正 人
東通村教育委員会事務局 参事・教育次長	
東通村教育委員会事務局教育総務課 課長	大 舘 富 雄
東通村教育委員会事務局教育指導課 課長	角 本 晃
東通村教育委員会事務局給食センター 所長	畑 山 元 康 (欠席)
	畑 中 稔 朗
東通村総合教育会議事務局	
東通村経営企画課 課長	菊 池 敢 世
東通村経営企画課地域戦略G 総括主査	西 谷 聖 子
東通村経営企画課地域戦略G 総括主査	浅 野 和 志
東通村経営企画課地域戦略G 主事	四ツ谷 隆 徳 (欠席)

4. 傍聴者 なし

5. 会議内容

(1) 開 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 西谷 聖子

(2) 村長挨拶 村長 越善靖夫

本日、第6回目の総合教育会議の開催をお願いしたところ、教育委員の皆様には、何かとご多用の中ご出席を賜り感謝申し上げます。また、平素から、教育行政はもとより、村政の各般に亘り、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、前回の会議では、村の最重要課題である幼小中一貫教育の推進に向け、なお一層努力していくこと等を協議し、有意義な意見交換が出来た。これを受け、教育委員会では、東通村教育大綱の目指すべき方向に向け、着実に施策を推進しているものと存ずる。

本日の会議では、教育委員会で決定した第2期東通村教育振興計画を踏まえ、教育の現状と課題について意見交換し、第2次東通村教育大綱の決定に向けた協議をさせて頂くものである。委員の皆様においては、忌憚のないご意見を賜るようお願い申し上げ、開会にあたっての挨拶とする。

(3) 議事録署名者指名 議長：村長 越善靖夫

それでは、議事に入る前に、事務要領第4条第2項において、会議録の署名について、本会議の構成員から指名することになっているので、北川教育委員と大槻教育委員を指名するので、宜しくお願いする。

(4) 議 事 議 長：村長 越善靖夫

○議 長：村長 越善靖夫

「議事（1）第1次東通村教育大綱について」事務局の説明を求める。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

説明に入る前に、昨年度の会議で説明した本年度の会議スケジュールについて、10月頃に本会議を開催し、「第2次東通村教育大綱」について議論する予定だったが、2月にずれ込んだ。

時期がずれ込んだ理由だが、「東通村教育大綱」即ち「第1期東通村教育振興基本計画」は、いずれも平成29年度をもって期間が終了するため、教育委員会が「第2期東通村教育振興基本計画」を決定し次第、「第2次東通村教育大綱」への置き換えを含めて村長と協議を行い、総合教育会議において議論することとしていた。

「第2期東通村教育振興基本計画」は、先般、1月18日開催の教育委員会議において決定されたので、2月にずれ込んだというのが理由となる。

本日は、「第2期東通村教育振興基本計画」を「第2次東通村教育大綱」への置き換え等を含めた議論をしていきたい、宜しくお願いする。

それでは、「第2次東通村教育大綱」について議論する前に、「第1次東通村教育大綱」すなわち「第1期東通村教育振興基本計画」の成果と課題について、明らかにした上で、それを踏まえて、「第2次東通村教育大綱」について議論する必要があるので、まず、「第1期東通村教育振

興基本計画」の成果と課題について、教育委員会から説明を宜しく願います。

○説明者：教育委員会教育総務課長 角本晃

「第1期東通村教育振興基本計画」の成果と課題について資料4により説明する。「第1期東通村教育振興基本計画」では、教育をめぐる現状と課題を把握したうえで、美しい自然と郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを教育の目標として6項目を掲げ、生きる力の確実な育成と心豊かでたくましい未来を担う人づくりを施策の基本方向とし、各施策に取り組んできた。

2枚目、3枚目は施策の成果と課題について記載している。施策の基本方向Ⅰ：社会を生き抜く力の養成として、生きる力の確実な育成と生涯を通じた自立・協働・創造に向けた修得について実施した各施策の成果と課題を記載している。施策の基本方向Ⅱ：心豊かでたくましい未来を担う人づくりとして、豊かで住みよい地域社会の形成、貴重な文化財の保護・保存、生涯にわたって親しむスポーツ活動の推進について実施した各施策の成果と課題を記載している。

主な施策の成果と課題についてご説明する。施策の基本方向Ⅰ：社会を生き抜く力の養成、目標1の施策1、確かな学力の向上について、成果として、物事を多様な観点から理論的に考える力が身に付いてきたという点が上げられる。課題は、更に児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた指導と学力向上に努めることである。施策4の教員の資質と能力の向上について、成果として、教員としての自覚と目標を持った授業づくりや指導の取り組みが向上してきたことがあげられる。課題は、更なる実践的指導力と専門的知識の修得が必要と思われる。施策5の幼児教育の充実について、成果として、質の高い子育て支援や保育が実施されていることである。課題は、小学校との連携強化があげられる。

目標2の生涯を通じた自立・協働・創造に向けた力の修得、施策1の現代的・社会的な課題に応じた学習等の推進について、成果として、学校司書の配置により分野ごとの図書整理や図書室の環境が整い、本を読むという習慣が身につき、貸出し数は増加傾向にある。課題は、村民誰もが情操教育を図れるような場所等の提供である。

次に、施策の基本方向Ⅱ：心豊かでたくましい未来を担う人づくり、目標1の施策2：生涯学習活動の充実について、成果として、自然・歴史・文化に触れる学習機会が増加してきたことである。課題は、活力ある地域コミュニティ形成に向けた人材育成があげられる。目標2の施策1、地域に根差した文化財の伝承と活用について、成果として、後継者の育成と発表機会が充実してきたことである。課題として、次代を担う子どもが楽しめる環境の醸成があげられる。

目標3の生涯にわたって親しむスポーツ活動の推進について、成果として、親子参加型スポーツ及びニュースポーツの推進が図られたことである。課題は、誰もがスポーツに親しみ、参画できる機会の提供が上げられる。

主な施策について成果と課題を説明させていただいたが、引き続き、細部にわたり各施策の分析を行っていく必要があると考えているので、ご理解賜りたい。

以上で、第1期東通村教育振興基本計画についての説明とさせていただきます。

○議長：村長 越善靖夫

「第1期東通村教育振興基本計画」の成果と課題については承知した。これらを踏まえ、教育委員会では、新たに「第2期東通村教育振興基本計画」を決定したと存するが、「議事（2）第2期東通村教育振興基本計画」について、事務局より説明いただきたい。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

「第2次東通村教育大綱」について、資料5「第2期東通村教育振興基本計画」を「第2次東通村教育大綱」に置き換えるかを含め検討するにあたり、「第2期東通村教育振興基本計画」を、教育委員会から説明を宜しく願います。

○議長：村長 越善靖夫

それでは、教育委員会より、「第2期東通村教育振興基本計画」について、説明をお願いします。

○説明者：教育委員会教育総務課長 角本晃

「第2期東通村教育振興基本計画」について資料5により説明する。「第2期東通村教育振興基本計画」については、第1期の基本理念を継承しつつ、これまでの取り組みの成果と課題を的確に捉え、学校、家庭、地域の共通理解のもと、各施策・事業を進めて参りたいと考えているが、第2期の基本計画を作成するにあたり、読んだ人がわかりやすく、目標達成のため、どんな施策が行われているのかがわかるような計画づくりに努めた。

計画の構成について、第1章では計画策定にあたって、計画策定の背景・趣旨、計画の位置付け、計画期間を記載している。計画期間は、2018年度から2022年度までとなっている。

第2章では、教育を取り巻く環境の変化について、人口減少社会の到来・少子化の進行、グローバル化の進展、地域・家庭の状況の変化を記載している。第3章では、東通村が目指す教育として6つの柱を記載している。

第4章では、施策の方向性と推進として、施策の基本的な考え方、施策の計画的な推進について記載している。

第5章では、施策の展開について記載しており、施策の展開は、東通村が目指す教育を柱として計画した。1つ目として、個を生かし生きる力と夢を育む保幼小中一貫教育の主な事業として、教育支援、教育環境、学力向上、人材育成を重点的に取り組む内容としている。

2つ目として、地域全体で支え合う子ども・子育て支援の充実について、ブックスタート推進事業、地域子育て支援拠点事業等に取り組む内容としている。3つ目として、基本的な生活習慣や望ましい食生活を身に付ける健康教育について、児童生徒の健康を第1に考え、引き続き、学校給食運営事業、学校歯科運営事業等に取り組む内容となっている。4つ目として、学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育について、社会教育団体の支援事業等を充実していくような内容となっている。5つ目として、次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用について、引き続き、貴重な文化財を次世代に伝えていくための事業等を推進していくこととしている。6つ目として、活力ある心身をはぐくみ交流を深めるスポーツについて、引き続き、

青森県民大会等の支援を行うとともに、子どもから高齢者までスポーツに親しんでもらえるような仕組みを検討していくこととしている。

計画の構成として、現状と課題を把握したうえでの施策概要について説明し、項目ごとに主な事業を記載している。本計画については、着実な推進を図るため、毎年度、事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、適切に進行管理していきたいと考えている。

以上で、第2期東通村教育振興計画についての説明とさせていただきます。

○議 長：村長 越善靖夫

只今、教育委員会より、「第2期東通村教育振興基本計画」の説明を受けたが、本基本計画を「第2次東通村教育大綱」に置き換えるかどうかを含めて、「議事（3）東通村の教育の現状と課題について」協議して参りたい。

○議 長：村長 越善靖夫

それでは、「議事（3）東通村の教育と現状の課題について」事務局より説明いただきたい。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

議事（3）東通村の教育の現状と課題については、「第2期東通村教育振興基本計画」を「第2次東通村教育大綱」に置き換えるかどうかを含めて、協議・調整（議論）を頂きたい。

事務局では、事前に、村長と協議して、「第2期東通村教育振興基本計画」を踏まえて、資料6「協議・調整（議論）の主な内容」として、協議項目をお出ししており、本項目を基本として、東通村の教育の現状と課題について、ざっくばらんに、議論をして頂きたい。

○議 長：村長 越善靖夫

只今、事務局より、「東通村の教育の現状と課題」について、資料6「協議・調整の主な内容」の項目を基本として議論し、「第2期東通村教育振興基本計画」を「第2次東通村教育大綱」に置き換えるかどうかを含めて、協議・調整するとの説明があった。教育委員の皆さんから意見を求める。

○奥島教育長

幼小中一貫教育ということで、学力の向上についての部分を説明する。こども園では、今年度から学校教育が満3歳から始まる学習指導要綱に則った教育課程が生まれ実施されている。

特に5歳児教育の充実をかね、様々な体験を主体的・対話的で深い学びを推進している。「きらきらタイム」による教育活動の実践が小学校教育の接続の学びとなる。5才児と1年生の交流や学習体験、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを実施し、学びと育ちが繋がるようにしている。

小学校の学力について、経営目標の第一に学力の向上を掲げている。算数が大きな課題となっており、全学級ティームティーチングによる少人数指導、単元によって習熟度別指導を取り入れている。3年生以上では、基礎を活用する力を向上させるために筑波大学で考案されたアイテムを活用している。社会・理科・音楽は教科担任制を導入している。今年度から、年3回

漢字大会の実施や授業改善に向けて、外部講師による、研修を実施し、ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりへ挑戦している。6年生については、中学校へのステップアッププログラムにして、年3回、中学校へ行って授業するプログラムに組んでいる。

中学校では、数学の時数を増やし、全学級2人あるいは3人の体制で指導している。その他、夏休み冬休みに学習会を実施し復習できる時間を増やしている。家庭学習についても、ただ投げるだけでなく、一日の振り返りをきちんとさせて、各学年担任が家庭での学習法を指導する形をとっている。

この取り組みの成果として、青森県学習状況調査過去5年の経過をみると、小学校は30年度については、理科はアップしているが、他の3教科については下がっている。

中学校については、今年度は、県と村とを比較した場合、全教科において高くなっている。しかし過去5年間を合計した場合は、まだ低い。

小学校の方では成果が見られないが、今年度の取組みが今後形になって見えてくるのではないかと思っている。英語教育について、5年生以上が、コミュニケーション活動を中心に勉強している。5年生ではスピーチコンテスト、6年生ではイングリッシュキャンプ セントカスパーツ校との異文化交流に取り組んでいる。中1年生では月1回のコミュニケーション活動を行っており、小中教員一緒に活動している。中2年生では年2回チャレンジングリッシュを実施し、内1回は管内ALT協力のもとたくさんのネイティブの皆さんとコミュニケーション活動を考えて行っている。中3年生ではセントカスパーツカレッジとのチャットによる交流やクリスマスカードの送付などを行っており、中学校の英語は今までよりも良くなっている。

課題については、学力向上が更なる課題となる。特別な配慮が必要な児童生徒がかなり増えていることへの対応、不登校傾向のある児童生徒への対応も課題である。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等関係機関との連携のもと、児童や家庭への働きかけをし、児童の情報は教育委員会へも報告・共有されており、学校側も頑張ってくれていると評価している。

○議 長：村長 越善靖夫

私から質問だが、村費負担の教員を配置しているが、具体的にどのような取り組みをしているか。

○奥島教育長

全学級ティームティーチングの形をとるため、村費も各学年にはりつけになって入っている。習熟度別学習については、全学年やっているわけではないが、今年度の例として、小学校2年生、3年生が実施しているという報告を受けている。その際は、村費の先生と、比較的余裕のある先生も一緒に入って協力している。また、理科・音楽については、専科教員として村費の先生がいる。

○議 長：村長 越善靖夫

承知した。小学校・中学校の学力の現状について、現在の小学校・中学校の学力は、県平均、他市町村と比較してどのような位置にあるのか。

また、平成18年度から教育デザインを実施してから、小学校・中学校の学力の推移はどの

ように変わってきているのか。県の通過率の話をしたが、実際にはどのように変わってきているのか。

学力の向上について、東通村では、幼小中一貫教育、少人数学級、村費負担教員の配置等、他市町村と比較しても手厚い施策を実施し、併せて教育委員会からの予算要求通りに概ね予算も措置している。

教育デザインの実施から13年が経つが、このような教育施策を実施し、子ども達の学力は着実に上がっているなどの結果が伴っているのか、お聞きしたい。

○奥島教育長

小学校については、統合した平成21年から25年までは5年生については、県の学習状況調査の中では、県平均を上回っていた。その後、26年から下降している。原因については、特別に学習が必要な子供も考えられ、色々と試行して、大きく改革したのが平成30年度であり、全学級、算数に対しては2人体制をとった。

中学校については、平成20年度からなかなか県平均へ到達していなかった。今の大学2年生が中学2年生のとき、県平均に近づいたのだが、その後またかけ離れた状況が続いていた。

しかし今年度は、県平均に近づいてきており、これは全学級、複数で指導したこと、数学の授業数を増やし、夏休み冬休みは、部活動だけではなく、お弁当を持参し学習会をする形をとったことにより、効果を挙げてきていると評価している。

○議長：村長 越善靖夫

東通の子ども達が、全体的にみてどの辺にいるのかという情報を、具体的に把握できるような説明資料を出していただきたい。教育委員の皆さんは知っていたり、公にできない情報もあるだろうが、目指すものを明確にする為に可能な範囲でお願いしたい。

もう一つ、第2期東通村教育振興基本計画と教育デザインの関係について、教育デザインには、学力を高めるためのデザインが網羅されているが、未だ実施されていないデザインもある。実施されていないデザインについて、第2期東通村教育振興基本計画に盛り込み、検討していく必要があると考えるが、教育振興基本計画の策定に当たり、どのように議論がなされたのか。

また、教育委員の皆さんは、現在の小学校・中学校の学力のレベルについて、どのように捉えており、また、より向上させるために、第2期教育振興計画のどの部分が最も重要であると捉え、推進していく必要があると考えているかお聞きしたい。

○鈴木教育長職務代理者

資料5「第2期東通村教育進行基本計画」を承知していただければ、これに肉付けをして実施していきたいと思っている。自ら求める力が必要であり、与えるだけでは成長しない。見守る側と目指す側がいて、相乗効果が生まれる。家庭でも学校でも勉強できる環境づくりが大事である。「わからないことを知りたい」という意力を持って欲しい。学校の図書室で本を読む時間は限られている。家で借りた本を読むこともなかなかない。家庭の人たちも、地域の図書室もないし、家庭の教育力を高める為に、図書館のようなものを建てるとか、集会所などに図書を置いたり、公民館の役割を果たせれば良い。史料館でも情報発信をしたり、いつでも開

館できる状況が出来ればありがたい。

○北川教育委員

わかりやすく、フォローしやすい計画を考えた。学習状況調査の結果では「何点上がった、下がった」という定量的な評価の仕方を導入したらどうかという意見もあり、フォローしやすい計画を導入した。

フォローするに当たり、目指すところは教育デザインとして、足元から固めていくのが良いのではないかと。家庭の環境についても、学校に任せきりではなく意識的に委員会が出向いて意識改革していくことも必要なのではないかということも、「第2期東通村教育進行基本計画」を認めていただければ、これを肉付けして実施していきたいと思っている。

○橋本教育委員

12月3日の公開授業にて、弘前大学の先生や、過去に東通で勤務していた先生が、「自分たちがいた頃の東通の生徒と全然違う」と言っていた。発言力があり、手も凄く挙がる。積極的な子ども達で驚いていた。

中学1年生は、村に関する知識も豊富で、自然や歴史の絵を書いて発表したり、中学2年生は、視野を広げる為に将来に向けた職場体験をしており、例えば、海上保安部、消防、陸上自衛隊やホテルなどに自分から担当者へ電話して、アポを取り職場に行っていた。将来の仕事をするためにどんな高校へ行き、大学・専門学校へ行くべきかを考えていることを聞き、成長しているなど感じた。他校ではガソリンスタンドやマエダストアなどに行った話を聞いたが、東通村の子ども達の方が数段上だと感じた。3年生は、村のPRをして、大学生との交流をして、自分たちが将来どんな考えを持っているかを話した。

先週の土曜日、こども園で作品展示会をしており、来園者はむつ市からも来ている人がいた。一日で終わらせるのはもったいないと思えるほど、もっと村の皆さんに見せたい、素晴らしい物づくりだった。

○議長：村長 越善靖夫

いろいろとご意見を賜り有り難うございます。大変、有意義な意見交換を行うことが出来た。意見交換した内容を踏まえ、次の議題「(4)第2次東通村教育大綱について」に進むこととする。

○議長：村長 越善靖夫

「議事(4)第2次東通村教育大綱について」について、教育委員会より、「第1期東通村教育振興基本計画」の成果と課題、また、「第2期東通村教育振興基本計画」の説明を受け、教育委員の皆さんと、有意義な協議・調整をすることが出来た。

現在、東通村の教育で最も重要である、将来の東通村を担う子ども達が、しっかりと学力を身に付け、自らの夢に向かって大きく羽ばたいていけるように、平成17年度から実施している教育デザインをこれまで以上に着実に進めていくということで、私の意向とも合致しているもので

あると考えている。但し、一方で、子ども達の学力が成果としてなかなか上がっていない実態もある。

今後、教育委員会でしっかりと議論して頂くとともに、学校現場等においても教育デザインの意図、「第2期東通村教育振興基本計画」の目指すべきところを理解して頂き、一体となって成果を上げて頂くよう期待したい。

これらを踏まえ、私としては、「第1次東通村教育大綱」に引き続き、教育委員会で策定した「第2期東通村教育振興基本計画」を「第2次東通村教育大綱」に置き換えることで決定したい。

○議長：村長 越善靖夫

続いて、「議事(5)今後のスケジュールについて」事務局より説明いただきたい。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

今月21日に村議会の全員協議会の場で、「第2期東通村教育振興基本計画」を「第2次東通村教育大綱」に置き換えること説明・報告したい。

また、来年度は今回決定した教育大綱に基づき、予算の策定が11月から入るので、資料7のとおり、その前の10月に議論し予算に反映できるように、本会議を開催したいと考えている。

○議長：村長 越善靖夫

それでは、事務局より説明があった件について、意見や質問があればお願いします。

○議長：村長 越善靖夫

意見等が無いようですので、次の議題に進みます。

それでは、「議事(6)その他」についてであります。何かございましたらご発言をお願いします。

○鈴木教育長職務代理者

東通教育デザインでは、海外研修や、塾、奨学金の件など色々と手厚くして頂いているので、村にはこういうものがあるということを、子ども達や家族へ機会のたびに知らせ、意欲を持たせ、経済的なことで不安がないように、上にいけるということを思ってもらえたらと思う。

○議長：村長 越善靖夫

今後、村の教育デザインにある学生寮の件も検討していきたい。

それでは、他に御意見等が無いようですので、これにて議事を終了し、進行を司会に返す。

(5) 閉 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 西谷 聖子

<議事録の署名>

平成**31**年 3月 20日

議事録署名者 北川 幹雄

議事録署名者 大槻 淳